

『Off Course!』

◇登場人物

- ・まさき (何かと口うるさい)
- ・みのる (何かと会話がズレる)
- ・すじお (何かとタイミングがズレる)

喫茶店。

三人、テーブル席で寛ぎ、揃ってコーヒーを啜っている。

まさき (カップを置き) いやー、うま、くないなあ。なんだ、これ？

みのる (カップを置き) え？ コーヒーだよ。

まさき 知ってる。

みのる なんだ、知ってんじゃないん。

まさき 知ってるから注文したんだよ。

すじお (カップを置き) この店のさ、ハーブティーが絶品なんだよ。結構

有名でさ。

まさき ……お前、なんでいま言うんだよ！

すじお え？

まさき もうコーヒー飲んじまったじゃねえか。ハーブティーがオススメ

なら、注文する前に言えよ。

すじお ハーブティーがオススメだよ。

まさき 今じゃないだろ！

すじお は？ まだ注文してないじゃん。

まさき したよ！ コーヒー！

すじお コーヒーだろ！ ハーブティーはまだじゃん！ 注文すれば良

いだろ！

まさき うるせえ！ もうしねえよ！ お前が言うの遅えからよ！

まさき、カップを逆さにし、

まさき ほら。俺もうコーヒーも飲み終わっちゃったよ。

みのる そうだよ。いまハーブティー頼んでも、コーヒーと混ぜれないじ
ゃん。

まさき 違うぜ。

みのる ……へ？

まさき 俺はべつに、コーヒーと混ぜたいわけじゃないぞ。

みのる あ、お前、ブラックしか飲めないんだっけ？

まさき それも違うぜ。そういうことじゃないぜ。

すじお (店員がいるらしき方に) すいません、ホットドッグ一つ！

まさき なんで食事頼んでんだよ。

すじお だって、俺まだ昼飯食ってないし。

まさき まだ朝の10時半だからね。なんなら俺もまだ食ってないわ。

みのる そうだよ。お前だけ食うのかよ。

まさき そ気にしてねえわ。なんなら俺まだいらんわ。

すじお じゃあ明日の打ち合わせね。

まさき 急だな。

すじお ホットドッグ来るまでの間にやんねえと。

まさき じゃあなんで今頼んだんだよ。ホットドッグなんてちやつちやと

作れちゃうだろうが。

みのる え、お前料理できんの？

まさき 俺の話じゃないわ。

すじお このホットドッグは絶品なんだよ。特にね、中のウインナーソ

ーセージが、こつてりしてて美味いんだよね。

みのる そうなの？ うわ、俺も腹減ってきた。

みのる、メニューを手に取り眺めだす。

すじお 後にしろよ。

まさき お前が言うなよ。

みのる (メニューを眺めながら) 『アト』ってどれ？ どこに載ってる？

すじお (メニューを閉じ) 載ってねえよ。

みのる、渋々メニューをテーブルに置く。

すじお、持っていた鞆から、しおり3部とサングラスを3つ、

取り出して各々に配る。

まさき、怪訝な顔でしおりとサングラスを見つめる。

みのる、サングラスをかける。

すじお はい、じゃあ早速一ページ目開けて。

みのる、さっとメニューを開く。

すじお それじゃねえよ。

みのる、ぼかん。

すじお もういいよ、はやく選べ。

みのる 俺もホットドッグにしようかな？ さっきの話聞いて食べたくな

すじお どうせなら違うものにしろよ。

みのる え？ ・ ・ ・ あ！ 決めた、これにする！

すじお なに？

みのる ウインナーコーヒー。

まさき 食いもんじゃねえのかよ。

みのる 食いもんじゃないの？

すじお ウインナー入ってねえぞ？

みのる え？ 書いてるのに？

問

すじお、ゆつくりとメニューを閉じる。

みのる、無抵抗。

問

すじお、二人を見回し、

すじお え、明日は、以前から計画していた通り、宝石強盗の実行日と

なります。二人とも、心の準備はよろしいですか？

み の る はい。

すじお じゃあ、明日のスケジュールから確認します。明日は朝八時に、海岸沿いのチョコレート倉庫に集合。平日のこの時間帯は道路が混雑するので、はやめに出発した方がいいでしょう。で、八時から一〇時までには自由時間。一〇時に、三人で昼食を食べにいきます。で、一一時半に再び倉庫に戻り、一二時半までは昼寝。起きてから一三時までには準備運動をして、それから一三時半までは最終打ち合わせ。そのあと再度軽く昼寝をして、一四時より倉庫を出発します。一四時一〇分に『ジュエリーショップ・ムツムツ』に到着。そして現場視察。一四時二〇分に近くの公衆トイレで着替えをして、一四時三〇分から襲撃を開始します。で一五時には・・・

まさき (さえぎり) あのださ！

すじお なに？

まさき ……これさ、ほとんど無駄な時間じゃないか？

すじお ……無駄な時間、か？

まさき うん。

み の る 確かに。既に紙に書いてあるから、わざわざ読み上げなくても・・・。

まさき (さえぎって) 違うな。そういうことじゃないな。

み の る うん？

まさき 一四時に倉庫に集合、でいいんじゃないか？

すじお えー、でもせっかくスケジュール組んだのに。

まさき なんだよ、お前のタイムマネジメント。第一さ、なんだよ、しお

りって。

み の る しおりってのは、どこまで読んだかわかるように本に挟む……

まさき (さえぎり) 知ってるよ！ ……そのしおりじゃねえよ！

み の る え？ どのしおりのこと？ ねえ、どのしおり？

まさき 遠足に行くわけじゃねえんだからよ。

すじお 別にいいじゃないか。彼女が頑張って作ってくれたんだよ。

まさき は？ 彼女が？

み の る あ、もしかして、彼女の名前が、しおり？

まさき お前、ってことは、彼女はこのしおりに書いていること、全部知ってるってことか？

み の る あ、しおりって、このしおりのこと！

まさき なにしてんだよ。そもそもさ、こんなふう印刷までして配る必要ないだろ？

み の る インクも紙もお金かかるんだぞ。

まさき 時間と役割さえちやんとしてりゃいいじゃねえか。

まさき、ひどく呆れている様子。

すじお どうしたんだよ。

まさき は？ お前、なんで彼女に強盗すること言ったんだよ。

み の る え？ そうなの？ ダメだろ、言っちゃ！

すじお なんだよ。なんかマズいことあるか？

み の る だって、サプライズできないじゃん。

間

まさき・すじお は？

みのる だって、急にダイヤとかプレゼントするからキュンとするわけじゃない、彼女は。でも言っちゃったらさ、彼女、「宝石、いつくれるのかな？」って身構えちゃうだろ。

間

すじお 別に、彼女にあげるつもりで盗まねえし。

みのる え、じゃあ自分で付けるの？ あの店ほとんど女性向けだろ？

まさき あのね、換金すんだよ。

みのる 誰を！ 店員さん？

まさき えっとね、閉じ込める『監禁』じゃなくて、お金に換える方ね。

みのる だから誰を！ 店員さん？

まさき 違うよ！ めんどくせえ！

すじお とにかく、明日は彼女もなにかと手伝ってくれるからさ。

まさき ……(諦めたように) 秘密厳守だぞ。

すじお わかってるよ。で、二ページの下の方……

まさき (さえぎって) まだやんの？

すじお まだ終わってねえし。

まさき いいよ、もう。明日一四時にチョコレート倉庫に集合な。

すじお なんだだよ、スケジュール書いてんだろ！

まさき 無駄だろ、こんなの！

すじお なあ、お願いだよ。このスケジュール通りに、な？

まさき なんだよ、なんかあんのか？

すじお 彼女が、映画を撮りたいって。

まさき は？

すじお 明日の一部始終を、ドキュメンタリー作品にしたいって。

まさき 頭おかしいのか、お前の彼女は？

すじお このテーマなら映画賞のグランプリも狙える、って。

まさき ふざけるなよ。そんなの無理に決まってるんだろ！

みのる そうだよ、俺たちズブの素人に映画なんて。

まさき 違うな！

すじお (しおりを取り) これ、後半が簡単な台本になってるからさ、とり

あえず読んでくれよ。強盗の邪魔はしないって言ってるし。

まさき ……わかった。ただし、絶対に、顔を映すんじゃないぞ。

すじお え、顔出しダメ？

まさき ダメだよ、当たり前だろ！

みのる たしかに、お前ブサイクだもんな。

間

照明C・O

了